



MMWIN[®] みんなのみやぎネット[®]

より効率的で、質の高い医療・介護サービス提供のために
Vol. 16

MMWIN事業の二本の柱は、①診療情報のバックアップと②その参照・情報共有です。いずれも2016年3月末には充実した体制となる予定です。

利活用促進や新規参加の参考になればと思いますので、概要をご説明いたします。

①診療情報のバックアップ体制

2016年3月末における診療情報バックアップ病院は、下の表と地図の通りです。病床数にして、県内病床の60%に相当する病院からのデータが、SS-MIX2という国が推進する標準ストレージシステムにバックアップされます。電子カルテのバックアップは、その施設のソフトが復旧に必要ですが、SS-MIX2はMMWINの汎用システムで参照でき、災害に強い形です。

【バックアップ構築病院】

石巻赤十字病院(個別)／気仙沼市立病院／気仙沼市立本吉病院／南三陸病院／東北大学病院／仙台医療センター／仙台厚生病院(個別)／仙台赤十字病院(個別)／坂総合病院(個別)／NTT東日本東北病院／東北労災病院／東北薬科大学病院／JCHO仙台病院／宮城県立がんセンター／仙台オープン病院／東北公済病院／総合南東北病院／公立黒川病院／宮城県立こども病院／中嶋病院／仙塩総合病院／仙塩利府病院／赤石病院／みやぎ県南中核病院／公立刈田総合病院／国民健康保険川崎病院／金上病院／栗原市立栗原中央病院／大崎市民病院／同鳴子温泉分院／同鹿島台分院／同岩出山分院／登米市立登米市民病院(33病院)

他に、35診療所、173保険薬局、37介護施設、合計278施設でバックアップを実施しています。



②バックアップされた診療情報の参照体制

データ元の病院が許可する項目のデータがバックアップされた診療情報は、患者さんの同意を得て、参加病院間で参照・共有することができます。同意患者数は、すでに1万人を大きく超え、毎週400名以上の新規加入があります。

患者さんからは「診療情報を共有してもらえると、苦手な病状説明が減って本当に助かるし、連携していただくと安心感がある」と大きな期待が寄せられています(先月の医師会報にて紹介)。

参加施設であれば、患者さんの同意を得て上記の33病院を含む278施設の情報を参照可能です。もし方法などご不明な点があれば、下記にお問い合わせください。

お問合せ先：

(一社)みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会

【住所】仙台市青葉区大手町1-5 宮城県医師会館6階

【事務局TEL】022-395-6312 【FAX】022-395-6313 【E-mail】office@mmwin.or.jp

『MMWIN』、『みんなのみやぎネット』は、一般社団法人みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会の登録商標です。